

ニュース学童保育

=私たちの活動 4つの柱=
 *制度化と指導員の身分保障
 *専門性と仕事の確立
 *父母と共に学童保育運動の発展
 *全国の指導員との団結と連帯

広がる不安に負けないぞ 新座支部

株式会社が
指定管理者に

新座市には17小学校あり、一小学校区に一放課後児童保育室が設置されています。17保育室23クラスのを新座市社会福祉協議会が指定管理者として運営しており、随意指名となっていました。

てとらえ、それらの解消に向け、取り組みを続けてきました。指導員の欠員は、処遇の低さからくるものだと訴え続け、市議会で何度も取り上げられ、国の処遇改善の補助金も活用し、少しずつ処遇の改善が図られてきました。

新座支部では、保育室の大規模化、指導員の欠員問題を大きな課題として扱っています。

そんな中、5月半ば、『次期指定管理者の一部は、民間事業者を含めた公募にする』と発表されました。

市は公募の理由を、指導員の欠員状態が数年続いて解消されないこと、解消のための処遇改善はこれ以上できないと説明しました。

部は、民間事業者

を含めた公募にする

と発表されました。

市は公募の理由を、指導員の欠員状態が数年続いて解消されないこと、解消のための処遇改善はこれ以上できないと説明しました。

今回の公募は、17小学校中の6校（23クラス中10クラス）を対象にしたもので、残り11校の保育室（13クラス）については、これまで通り社協を指名するというものでした。社協の職員である指導員は、その13クラスに配置されることになり、現在勤務している指導員の雇用は確保されました。



ミーティングに参加した新座の仲間たち。

「全国学童保育研究会」参加申し込み、1月15日まで

各支部とも、申し込み忘れはないでしょうか？

学童保育の質、指導員の仕事・役割に注目が集まる情勢です。たくさん、参加しましょう。

市は公募の理由を、指導員の欠員状態が数年続いて解消されないこと、解消のための処遇改善はこれ以上できないと説明しました。

今回の公募は、17小学校中の6校（23クラス中10クラス）を対象にしたもので、残り11校の保育室（13クラス）については、これまで通り社協を指名するというものでした。社協の職員である指導員は、その13クラスに配置されることになり、現在勤務している指導員の雇用は確保されました。



新座・所沢支部の合同での埼玉県交渉。

12月議会において、次期指定管理者が議決され、社協とシダックスに決定しました。私たちがこれまで積み重ねてきた経験や大切にしてきた保育が損なわれることがないように、連携をしていく必要もあります。

仲間とともに

所沢支部の仲間とともに、毎年、県の担当課との交渉を行っています。

今後の課題

新座の学童保育は、40年以上の歴史があります。その40年以上を共に過ごしてきた指導員がいます。指導員が働きやすい職場、若い人が働き続けられる職場、よりよい学童保育をめざしていくことが、これからの私たちに託されています。組合員を増やし、それが実現されるよう頑張っていきます。

（新座学童保育支部 卯都木早苗）